

自分の花を咲かせよう

第12号
令和元年9月18日(水)
文責：森田美貴子

「知る」から「動く」へ

先日(12日)の学年集会で、大学体験「知の冒険」についての話をしました。11月7日(木)に実際に大学に出向いて、午前・午後の講義を1つずつ受けます。大学の先生方が時間を割いて講義を提供して下さるのはとてもありがたいことです。これは附属中学校ならではの取り組みで、ほかでは体験することができません。『学ぶ意味』とは何か?『大学』とは何か?を含め、自分の進路を見つめる機会にしてほしいと思っています。

またそれと同時に2年生の今の時期だからこそその心構えと、転換期の話をしました。今、2年生は大きく変わる時期に来ています。「部活動の主軸となる」「生徒会の主軸となる」などの学校全体に関わることもそうですが、自分自身が大きく飛躍するためのチャンスが今であることを伝えていきます。今までは自分のことを『知る』ことが中心でしたが、これからは周囲のために活動したり、自分の力をさらに高めるために未経験のことにもチャレンジしたりする必要があります。リーダーとしての役割を多くの人が任せられるようになった今だからこそ、自分から経験を得るために『動く』。失敗を恐れている場合ではないのです。経験しなければ得られないことは多いもので、成功することばかりが人生に必要なものではありません。成功も失敗もどちらも経験してこそ人生が深まるというもの。切磋琢磨・文武併進は附属中学校の校訓です。自分を磨きあげ、時間や知恵をやりくりして今しかできない経験をしましょう。



学年の集い「海の親子寄席プロジェクト」

9月25日(水)に学年の集いを開催します。今年度は平日開催のため、保護者の皆様の参加を難しくしてしまい、申し訳なく思っています。生徒は全員参加してSDGsに関連した学習をします。落語家の立川吉笑さん、専門家の井手迫義和さんをお迎えして、環境についての落語を聞き、考えます。保護者の皆様もご都合がつかれましたらどうぞ参加ください。